

(別紙)

様式第1号(第5条関係)

会 議 録

会 議 の 名 称	令和4年度 美幌町自治推進委員会 (第3回)
開 催 日 時	令和4年10月24日(月) 18時30分 開会 20時20分 閉会
開 催 場 所	美幌町役場庁舎1階 第1会議室
出 席 者 氏 名	熊崎委員、横山委員、志布委員、横関委員、加藤委員、佐々木委員 西岡委員、田村委員、鹿野委員、佐藤委員
欠 席 者 氏 名	
事務局職員職氏名	小室総務部長、沖崎政策課長 政策統計グループ 辻主査、稲場主事
議 題	1 自治基本条例の見直しについて 2 美幌町制施行100周年記念事業について 3 その他
会議の公開又は 非公開の別	公開
非公開の理由 (会議を非公開とした場合)	—
傍聴人の数 (会議を公開した場合)	0名
会議資料の名称	【資料1】答申(案) 【資料2】意見一覧 【資料3】100周年町民協働事業提案評価調書
会議録の作成方針	<input checked="" type="checkbox"/> 録音データを使用した全部記録
	<input type="checkbox"/> 録音データを使用した要点記録
	<input type="checkbox"/> 要点記録

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
熊崎会長（司会）	<p>【開会】</p> <p>皆さんこんばんは。本日は大変お忙しい中、お集まりいただきましてありがとうございます。ただいまから令和4年度第3回美幌町自治推進委員会を開催いたします。佐々木さんが少し遅れていらっしゃるものでしたので、このまま進めさせていただきたいと思います。</p> <p>それではさっそく、議題に沿って進めていきたいと思います。</p> <p>議題1 自治基本条例の見直しについて</p> <p>議題1 自治基本条例の見直しについてとなります。前回はチェックシートを用いて出た意見を確認させていただきましたが、その意見をもとに事務局で答申書を作成しておりますので、まずは事務局の方から説明をお願いしたいと思います。</p>
辻主査（事務局）	<p>それでは、私の方からご説明させていただきます。まず事前にお配りしております資料1をご覧くださいと思います。こちらは答申書の案になります。前回委員の皆様からのご意見をいただきまして審議させていただきました。</p> <p>その内容について答申書の意見とするべき内容として事務局で整理させていただきました。答申書の案とさせていただきます。町長から8月2日に熊崎会長に対して諮問があり、そちらは各条項が本町にふさわしく社会情勢に適合しているかご検討願いたいという内容でしたので、その内容について審議しましたが大きな社会情勢の変化は見られなかったということで特段改正する要素が散見されないことから、条例を見直す必要はないとの結論に至った旨を上段に記載しております。</p> <p>条項をそれぞれ見直していただいた中でいただいた意見について課題等がありましたのでそちらを1番から6番として明記させていただきます。</p> <p>順番に報告させていただきます。</p> <p>資料2もお渡ししておりますが、こちらの意見一覧が資料となっておりますので、こちらと一緒にご覧くださいと思います。まず1番ですね。資料2についても1番になります。第12条の町民参加の基本についてです。</p> <p>町民参加の内容について、青少年や子供の町政の参加について、ご意見をいただいておりますので、答申書に意見として入れさせていただきます。そちらの内容は青少年及び子供の町政の参加について今後も年齢にふさわしい方法により町政に参加しやすい取り組みの推進を図っていただきたいということで第1ということ載せております。</p> <p>次に第2番になります第13条です。町民参加の対象ですが、町民参加の対象の一つとしてパブリックコメントがあり、そのパブリックコメントの対象の中に各施策の基本となる計画の見直し策定や見直しについてが挙げられているのですが、この対象の範囲がわかりづらいというご意見もありましたので運用面について改善が必要であるとの判断で意見として載せております。</p>

その内容は町民参加が必要なものとして、各施策の基本となる計画の策定や見直しについて挙げられています。その計画が町民参加の必要な計画であるかわかりづらい面がありますので、運用面での整理に努められたいということで載せております。

続きまして次の資料については次のページになります。3番の第15条です。提出された意見等の取り扱いですが、町民参加で寄せられた意見については検討後に公表しますがその公表方法の一つとして情報コーナーが挙げられていたんですけれども、庁舎改築後、情報コーナーがなかったことから、情報コーナーを適切な場所に設置するよう意見として載せております。

その内容につきましては、ちょっと説明と重複するんですけれども、町民参加によって寄せられた意見等については、検討後に公表するものとしており逐条解説には、ホームページや情報コーナー等で広く内容を公表すると記載されていますが、現在情報コーナーが設置されていないとのことです。広く町民へ公表するためにも情報コーナーを適切な場所に設置していただきたいということで3番としています。

続きまして4番になります。資料1が、次のページめくっていただきまして、資料2も、次のページです。3ページになります。こちらが

第16条、審議会等の委員の選任ですが、男女比率の明記や高校生の選任についてご意見がありまして、議論していただいたんですけれども、その中でも女性委員の割合を求める明記がなくなるように、なるのが将来的には望ましいよねというようなお話も伺ってございましたのでそういった内容も含めて載せさせていただきました。

内容は女性委員の割合については美幌町附属機関等の設置および運営に関する指針に基づき30%以上となるよう努めるものとしていますが、将来的に女性委員の割合を求める規定がなくなるような取り組みや青年層の参画が図られるような取り組みを推進していただきたいということで載せております。

続きまして5番、第40条の行政手続きになります。こちらはご意見で先進自治体等、北見市などですね、参考にしまして窓口サービスの向上ですとか、申請手続きの簡素化、効率化が図られるような取り組みを更に推進してもらいたいということでの意見としてこちらを載せております。

内容が重複しますが行政手続きについて、先進自治体の取り組みを参考にするなど窓口サービスの向上や申請手続きの簡素化、効率化が図られるような取り組みを更に推進していただきたいということで載せております。

続いて6番です。第47条で国際社会との交流及び連携ですが、こちらは職員からの意見で友好姉妹都市の他にも街の課題解決に繋がるよう観光ですとか雇用ですとか、様々な分野において国際社会と関わっていくことが必要であるとのことから、こちらについても意見として載せさせていただきました。

答申書の内容は国際社会との交流及び連携について、今後も様々な分野において多くの地域の人々と交流および連携を図り、まちの課題解決

	<p>に繋がるような取り組みを推進していただきたいということにしております。以上の内容が前回、皆さんからのご意見としていただきまして、答申書に載せさせていただいた内容となります。</p> <p>最後に資料1の答申書に7番ということで入れているんですけども、こちらは、最後の締め言葉としまして入れさせていただきました。</p> <p>今後も基本理念であります町民主体の自治の実現に向けてご尽力いただきますようお願いいたしますと記載して町長に対する答申書とさせていただきます。</p> <p>なお町長への答申日につきましては11月1日火曜日の午後6時半からのこの場所において、答申をすることとしておりますその際には皆さんのご出席もお願いしたいと思っておりますのでよろしくお願いたします。</p> <p>熊崎会長（司会） はい。ただいま事務局から答申案の説明がありましたが、こちらについて委員の皆様からご質問等ありましたら、こちらの意見がないようであれば、この答申案で来週火曜日に町長に提出するってということですね。</p> <p>辻主査（事務局） はい、その予定で考えております。</p> <p>熊崎会長（司会） 皆様大丈夫でしょうか</p> <p>(各委員同意)</p> <p>ありがとうございます。こちらの答申案について町長に対して答申をさせていただきますと思いますので、よろしくお願いたします。</p> <p>辻主査（事務局） あともう一つすみません。逐条解説の関係で一つお話ししたいことがあったんですけども、よろしいですか。</p> <p>熊崎会長（司会） どうぞ。</p> <p>辻主査（事務局） 先ほどの答申書の案ということでご審議いただきご了承いただきましてありがとうございます。こちら答申書の意見をもとに今後の逐条解説も改正していくんですけども、逐条解説については今後の改正ということで、事務局にてこのいただいた意見をもとに改正させていただきます。改正後に委員の皆さんへお知らせすることで考えております。こういった形で進めさせてもらってよろしいかどうかちょっと確認させていただけたらなど。</p> <p>熊崎会長（司会） よろしいでしょうか。条文は変えないけれども逐条解説の方をこの内容に沿うような形で改正をして、それでまた出来上がったら皆さんに完成したのを見せるという形でいいかどうか。</p> <p>(各委員同意)</p> <p>ありがとうございます。では、改正した内容についてお知らせするという形で進めさせてもらいたいと思います。</p>
--	---

<p>辻主査（事務局）</p>	<p>それでは、議題の2、美幌町制施行100周年事業についてです。前回委員の皆様から提案された意見を事務局において整理したものの説明をお願いいたします。</p> <p>はい。それでは、資料3をご覧くださいと思います。こちらは事前に皆さんからの提案としていただいた内容について、事務局において整理しました評価調書となっております。まずこの表の見方ですが、一番左下、左側から順に説明させていただきます。</p> <p>一番左に番号と事業名がございます。その次に提案した方のお名前と基本方針、基本方針につきましては、本日机の上に置かせていただいておりますが、事前に第1回目のときもお配りさせていただいているんですけれども、この基本方針を資料3の左上に載せております。この基本方針に当てはまっているかを確認する箇所となっております。</p> <p>続きまして、基本方針の隣に施策区分とありますが、こちらは基本方針の基本理念の中に歴史を振り返り、本町の魅力を再確認し改めてこのまちを愛し、誇りに思う機会とし、その思いを未来の「びほろ」を築いていく次世代に繋げていくものとするとなっておりますので、過去、現在、未来のどの部分に当てはまっているかを記載しております。</p> <p>次に参加対象のターゲットですがこちらは年齢層と町外の方も対象としているかがわかるように記載しております。</p> <p>次に事業の概要ということで、こちらは事業の内容を記載しております。</p> <p>次に事業費です。こちらはざっくりと事務局の方でこのぐらいかかるのではという内容で載せております。</p> <p>次に実施時期や実施期間ですが、こちら想定される時期や期間として載せておりますので、必ずこの時期や期間というわけではございません。</p> <p>次に課題や問題点ですが、こちらは想定される課題や問題点を載せております。</p> <p>次に事業実施の可能性と事務局の評価ですが、先ほどの内容を加味しまして事業実施の可能性として、事務局において整理をさせていただきました。</p> <p>70%以上60%以下を三角としております。たくさん提案をいただきましたが事務局において事業実施の可能性が50%以上のものこちらに載せさせていただいております。</p> <p>以上が表の見方となっております。そして、先ほどのお話した内容をふまえて、合計で11本の事業を載せております。</p> <p>なお、表の1番から3番につきましては既に町で進めていくことで決まっているものとなっておりますので、こちらにつきましてはお知らせという形で載せております。続いて4番から6番におきましては、町の主催事業と連携事業、こちらが実施する役場にあります市内検討チームがあるんですけれども、こちらからも出ていた内容となっております、一応同じものが出ていたということです。</p> <p>課題の問題点のところは一応お知らせという形で載せております。</p> <p>以上簡単ですが事務局において整理した内容についてご説明をさせていただきましたので、よろしくをお願いいたします。</p>
------------------------	--

熊崎会長（司会）	<p>ありがとうございます。</p> <p>あと、ここに今入っていないんですけども志布さんから提案がありましたのでお願いします。</p>
志布委員	<p>私が所属している女性の団体からも意見がありましたのでお知らせします。</p> <p>前回いただいていた100周年の資料をもとに、この前集まりをした際に意見を聞いてみました。来年100周年を迎えるにあたって、こういう計画があるんですよってことで女性の考えとして何か皆さん何かアイディアとか何かで希望とか何かありませんかっていうことで聞いてみました。そしたら前に何か100kmデュアスロン大会が、開基100年の時に始まったんじゃないかですかとか、あとは町と町がスポーツで対抗するようなイベントもありましたが、それも自然に負けたか何かで終わったのか、何かいろいろみんなで思い出し思い出しながら、あれは何だったんだろうとかって話しあったんですが、デュアスロンのように続いていくってということも記念事業として残っていくっていうのも一つ、いいことだねってということと、そういう思い出ばなしの話もされたのと、あと和太鼓も頑張ってるねとか、暖かい時期に何かそういうことやって皆で一つになるのもいいねってという話しにもなりました。</p> <p>あとラジオ体操を冬祭りのときに体操をみんなでやりましょうということで、モコモコの服着たまんま冬まつりの時にラジオ体操するんですよ。ラジオ体操ってみんなね、老若男女、ずっとやってるかな。私たまたまテレビかで見たんですけども、スポーツ体育学校の生徒さんの方、男性の方も女性の方も女性は指導者の方かもしれないんですけど、舞台に立ってる人と、体操やるお兄さんとお姉さんと、その動きの機敏さにびっくりしちゃってラジオ体操ってすごいなと思ったんですよ。</p> <p>私が子供のときの状態から変わってきてると言いながらも、ラジオ体操一つにすごいことだなと思って。</p> <p>そしてスポーツって改めて言われてもスポーツする人は子供というかスポーツのところにずっと携わってるけど、私駄目だから自分がそうだからラジオ体操をあんだけキビキビと綺麗だなと思うくらいの体操だったので、美幌町でもそういう綺麗さを表現するラジオ体操とか挑戦してもらったりして目の前で正しい運動の仕方を習うというか見るって綺麗だなと思ったんですが、なんかすごくて。</p> <p>そういうのもあって一つ挑戦するってのもいいんじゃないという意見も仲間の人たちからありました。</p> <p>あと花火大会は意見として出ましたけれども、花火大会に冠をかけて100年記念でやるっていうのもできるんじゃないって言ってまして、役場の人に立ち会ってくれて意見として花火大会もいいねって、今年も火事になっちゃったしねとか言っているいろいろ反省含めながら雑然とした話ですけども、何かやっぱり継続して名前が残るようなものがないですかとか、ちっちゃい物配るならいらんかなというふうな、雑ぱくですけども、そういうふうな一応皆さんから意見としてお聞きしましたのでご報告させていただきます。</p>
熊崎会長（司会）	<p>ありがとうございます。</p> <p>資料の方ができて志布さんからご意見いただきました。</p> <p>この点につきまして皆さんの方から何かご意見があればいただきたい</p>

	<p>と思います。</p>
<p>横山委員</p>	<p>庁内検討チームでどのような案がでていのか教えていただきたい。</p>
<p>辻主査（事務局）</p>	<p>既存事業に冠をつけて、例えばデュアスロンですとか、和牛まつりですとか、そういったところに冠をつけてちょっと事業費アップさせて実施してみてもどうかですとか、あとは、まだ庁内検討チームで決定はしてないんですけども。提案として出ていたのが、昔と今の風景を照らし合わせるような、パネルとかを置いたりとかして、町民の皆さんにそういったその100年前と現在の状況を見てもらうですとか、プロジェクトマッピング、イルミネーション、ロゲイニングとポケモンGOのコラボレーション、100周年を記念して植樹100本ですとかあと講演会の事例、いろいろな分野での講演会をリレーで繋いでいくですとか、児童向けのタイムカプセルですとか、敬老会ですとか、あとですね美幌戸長役場の初代戸長が野崎さんっていう方なんですけども、野崎さんは鹿児島県出身で、その方のルーツをたどるですとか、そういったものがあります。あとは、町民体育祭とか、子供スポーツフェスティバルの充実、あとeスポーツですとかそういったところも出てますね。あとは謎解きイベントですね。そのときに一緒にフードフェスティバルということで謎解きしながら町内の飲食店を回って食事したりですとかそういったような提案も出てきてます。</p> <p>これも謎解きにつながるかもしれないんですけども、美幌町の歴史巡りツアーですとか。</p>
<p>横山委員</p>	<p>それは事業実施可能性50%以下だからこちらの資料に記載がないということですか。</p>
<p>辻主査（事務局）</p>	<p>先ほどご説明したのは、あくまでも庁内検討チームの提案ですので実施主体が違います。自治推進委員会の中でやるべきものと、また別として考えておりますので、こちらの資料には載せていないものになります。</p> <p>ただ同じ内容のものがありましたので、その部分で庁内検討チームでも提案がありましたということで載せているところです。</p>
<p>横山委員</p>	<p>ちょっとよくわからないのですが、庁内検討の組織と町民協働組織と言われる自治推進委員会の組織と一緒にやってやるということでしょうか。</p>
<p>辻主査（事務局）</p>	<p>まず事業が三つに分かれておまして、この事業に分かれて実施していくんですけども、こちらがその基本方針のお配りしております、裏面にですね、町主催事業、町民協働事業、連携事業ということで三つ分かれているんですけども、庁内検討チームにおいては、町主催事業と連携事業、こちらを進めていくものとなっております、自治推進委員会につきましては町民協働事業について進めていただく形となり、三つで分けているところです。</p>
<p>西岡委員</p>	<p>町民協働事業と庁内検討チームでの実施事業について整合性はとるのでしょうか。</p>
<p>辻主査（事務局）</p>	<p>町民協働事業については、今回11事業に絞って上げているんですけども、庁内検討チームと同じ提案があったとしても、もしこの内容を自治推進委員会で取り組みましょうということであれば、庁内検討チー</p>

	<p>ムでは、自治推進委員会で実施する事業については、やらずにそれ以外のものでもやるというような形で整理させていただきます。</p> <p>同じものはやらないということですね。</p>
熊崎会長（司会）	<p>また何かは、はっきりしてしない感じですよ。</p>
辻主査（事務局）	<p>そうなんです。ここから何かこうできるものはないかなということでもちょっと考えていただけたらなと思っているところです。</p>
熊崎会長（司会）	<p>やっぱり100周年事業について、私の中からちょっと手を挙げた部分もあったんですけども、以前ちょっとお話させてもらったんですけど。100周年記念事業というものに向かって、今のこのメンバーが自治基本推進委員のメンバーとして企画をして実行していくっていう流れってというのが、ちょっと無理があるんじゃないかなと思います。</p> <p>というのが町民協働事業である以上、やっぱり自治推進委員会がある程度関わりを持っていくってのは、良いことだなと思うんですけども。ただやっぱりここで企画をしたりとか、それを実行していくっていうことに向かっては、そのために集まったメンバーでもないの、ちょっと難しいのかなって思っているんです。</p> <p>そこは、例えばそれぞれの実行委員会でもいいと思うんですよ、花火大会を実施する実行委員会があるとか。そういう形で協働事業ですから、それぞれに多分補助金もおおりと思うんですね。</p> <p>その管理というか進捗の管理とかっていう部分を自治推進委員会でやるのは、それは我々の協働事業をやる委員なので、できるかなと思うんですけども、やっぱりそこに企画の部分でどうやって進めていくかというのは、なかなかここからまたさらに自分たちでやるかってなると難しいなという感じで、そういう何かこれからどういう方針でいこうかなっていうところをある程度今日の会議でもいいんですけど、はっきりさせていった方がいいかなって思っています。</p> <p>そうしないとなんか今どこの部署でどんなことやったらいいのか、どんなことまで言えるのかとかっていう、わかんないまま進んでいる感じもあったんですよ。そういう風には思いました。</p>
沖崎課長（事務局）	<p>実施についてはですね、今熊崎会長の方からご意見ありました通り、ちょっと皆さんいろいろな団体からいろいろな仕事もきちんと持っている中でこういった委員会の方に参加していただいているという部分でなかなか時間を割けなかったりだとか、いろいろなご事情があるのかななんて思っているところです。</p> <p>なので、もしよろしければ実行委員会の形式もですね、一つの100周年記念事業実行委員会っていう形がいいのか、それともイベントごとの実行委員会がいいのか、そういった部分も含めるとちょっとなかなか今この場で整理しきれないかなというのも正直なところ思っているところです。</p> <p>なので、もしよろしければ、その実施実行部隊の部分についてはですね、ちょっと事務局の方に一任させていただいてという、ただ、自治推進委員会の皆様がやはり町民主体の事業に関わっていただきたいという、当初の方針もございますので、進捗管理ですとか、そういった部分ではちょっとお願いしたいなと思うんですけども。</p> <p>そのような形でちょっと事務局にお預かり一任させていただきたいなと思うんですが、よろしいでしょうか。</p>

<p>西岡委員</p>	<p>やっぱり我々としての立場というか役割っていうか、そのようなちょっと漠然としてるから、それと私らに今会長が言われたようにこれをやってくれと言われても、おいそれとできるものできないもの、できないものが多かったり、またこの委員全員で力を合わせてやる方がやれるだろうし、大きな組織の中で推進委員会の役割として、この部分なんだなっていうのがある程度見えてくればいいのかなど。</p>
<p>沖崎課長（事務局）</p>	<p>そうですね。ですので、実際にどういった事業に取り組むべきかというようなある程度この事業の絞り込みっていうんでしょうか。 その辺の議論をちょっと少ししていただけるとありがたいなとは思いますが、ですけれども。</p>
<p>熊崎会長（司会）</p>	<p>確かに、案が出た中でだけあって、その中でこれを来年に向けて進めるような形で実行委員会作ってみていかがですかっていうような提案がある程度絞り込めた方が予算もあるし、決めやすい部分もありますよね。</p> <p>一応自治基本推進委員の役割としては、今後に関して行けばその実行委員とかの進捗を管理するようなものになるというような感じで考えてもいいんですか。これはすいません僕からの意見でもあったんですけど皆さんどうですか。</p>
<p>佐藤委員</p>	<p>事務局の方で資料３に事業名が列挙されておりますけれども、そちらを事務局の方で取りまとめていただいて、細分化して役割分担が出てくるかと思うんですけれども、それぞれの事業がどういう進捗になっているかということをお場で報告いただいたりとか、そういうようなイメージでよろしいでしょうか。</p>
<p>沖崎課長（事務局）</p>	<p>あと実行委員会も組織したとしてその中に委員のどなたかが入っていただいているという形もありかなとは思ったりしてはいるんですけれども。あとはこういう実行委員会じゃなくて住民の何かそういうことを取り組んでいるような組織とかがあれば、そこがメインっていうような形で進めてった方がいい部分もあるのかもしれないですし。</p>
<p>佐藤委員</p>	<p>(1)(2)に関しては、先ほどお話いただいたんですが、(3)連携事業、町、町民、団体等が連携して事業を実施するものとしますっていうところに関しては、これはこれから案が上がってくるところなんですか。</p>
<p>辻主査（事務局）</p>	<p>そうですね。はい。</p>
<p>沖崎課長（事務局）</p>	<p>例えば３番の資料３の方でいきますとNo. 5に謎解きイベントというものがあるんですけども、これは自治推進委員会の方からのご意見いただいているんですけども、庁内検討チームでの提案もあるという状況ですので、もし同じような提案が出てくるのであればそれを町に関わらずに町民主権事業としてやった方がいいのか、それともこの連携事業っていうことで、町も町民もっていうことで、一緒になってこの事業をやった方がいいのかっていうこともちょっと決めていきたいなと思うんですけども。</p> <p>逆にそうですね、この自治推進委員会の中で、これは町民協働事業と</p>

<p>横関委員</p>	<p>してやる、やりたいっていうことがご意見として取りまとめがされましたら、町の庁内検討チームの方にはそっちでやるから、ちょっと手を引くといいますか、そういうような棲み分けは今後していきたいなと思っています。</p> <p>謎解きイベントに関してはどれぐらいの場所で謎解きを設定するかとかそういったことも考えていくと、結構な人数が関わりを持たなきゃいけないかなという部分であれば、より多くのスタッフが連携して進めていった方がいいのかなっていうのもちょっと思っているところがございます。</p> <p>ごめんなさい。ちょっと理解ができなくてちょっと変な質問するかもしれないんですけど。今の謎解きイベントだけのことで、庁内検討チームで意見が出てるということで、ここで言ったら（１）の町主催で出てきてるっていうことですよね。</p> <p>ここの自治推進の町民協働事業の中でこの（２）で出てるっていうことで、ただ事務局としては、これから町、町民団体が連携して事業を実施するものとします。（３）がこれから出てくるということであれば、事務局としては町、町民、団体が連携して実施することが望ましいということで、このような課題や問題点を理解すればいいんですか。</p> <p>それとも私達がこの中で謎解きをやるのであれば町がひくということ。これから、この（３）の連携事業の町、町民、団体等が連携して事業を実施するものとする行事っていうのはこれから出てくるって、さっきおっしゃってたような気がしたので、そこでもまた謎解きが出てくれば、すでに町民協働事業でやるって言うるので、連携事業では駄目ですってなるのか。</p> <p>事務局の方としてはこの（３）の方でやったらどうですかっていう提案なのか、ごめんなさいというふうに理解すればいいのかということなのかわからないのですが。</p>
<p>辻主査（事務局）</p>	<p>そうですね。規模的に大きいものが想定されるのかなと思ってましたので、連携事業と町主催事業というのが役場の庁内検討チームが入りますので、連携事業や町主催事業でやった方がいいのではないかなというような、疑問じゃないですけどもクエスチョンでちょっとつけさせていただいたんですよ。ですのであくまでも事務局の意見という形になりますので、謎解きイベントは町民協働事業でやっぱりやりましょうっていうことであれば、連携事業と町主催事業ではやらないという形にはなってくるかなと。</p>
<p>横関委員</p>	<p>ただ、さっき会長の方で今この段階で来年になると期間が短いので、ここの中でやるのはちょっと難しいんじゃないかと提案されたので、そこで（２）町民協働事業として１１項目をやるというのはなかなか難しいとあったのでそうすると、先ほど事務局の方で細かいことに関しては任せてもらっていいですかという意味の、この町民協働っていうかそういう提案をするっていう形はどうですかっていうのが事務局の方の提案なんでしょうか。</p>
<p>辻主査（事務局）</p>	<p>ここから事務局でこの事業を選ぶっていう形ではないんですけども、１１本には絞ったんですけども、そのうち３本はもう既に町で実施しますので８本ですか。</p> <p>８本の中で何かこう自治推進会議の方で想定して実施できるようなも</p>

<p>西岡委員</p>	<p>のがないかというような案ということで、この8本に絞って掲載させていただいていますので、全て実施ということではないということですね。</p> <p>8本の事業については動いてはいないので一応提案だけはあったという状況ですね。</p> <p>私が心配してるのは、来年実施するにはもうあと半年、あるいはないですよ。そういったときに、これをちゃんと丁寧にやらないかというのは十分わかるんですけど。そうは言っても時間は刻々と迫る、事業は実施できないでは困るので例えば今庁内検討とここでやってる部分、それが今出てきました。</p> <p>例えば出てきた中で予算が絡むから、もしくはあの企画運営するのもこの部分はここでやりなさいというのは、なかなか無理があるのかなと思うんですよ。そうであれば出てきた部分をやるとしては、一つは庁内検討チームで、それらを全部やってこれはどうなのか、検討してもらって今後こういうことしていきたい、この項目でやりたいと思います。</p> <p>と、今度は逆にまたそこにフィードバックして、その内容についてまた何か案があればそれを付加していく、すとなればこの自治推進委員会がサポートするような形になっていかないと速度が6ヶ月間か間に合わないと思うんだよね。その部分でやっぱりもうここまできたら、ある程度のを事務局の方でまとめてもらって、自治推進委員に聞いてもらったりしてもらえれば良いのかなと。</p>
<p>辻主査（事務局）</p>	<p>ここからさらに事務局で絞っていくっていうイメージですかね。</p>
<p>西岡委員</p>	<p>いや、私どもがやらないではなくて、やっぱり出来上がりがもう後ろが決まってるから、そこにはもう作っていくとなれば、ある程度決めるものを決めて提示してそれじゃあ行くかって。ちょっと乱暴な言い方だけどそういうふうにしてかないと。</p>
<p>佐々木委員</p>	<p>自分もそう思います。半年って長いように見えてちょっと短いんで、あっという間に過ぎちゃうと思うんで。なるべくだったら、それこそ実行委員を作るっていうのが、もう課題でもここで出てきてるのであれば、そういう意味でもメンバーを集めて作って話し合っていないと間に合わないのかなと。もし間に合ったとしても、ちょっと式典にならなかったとかそういう反省点が出るのは何かちょっと携わる側としては、ちょっと嫌かなと思うので、やっぱりやるんだしたら良いものにはしたいので、人を集めないといけないというのはあります。</p>
<p>辻主査（事務局）</p>	<p>それでは、事務局でまたちょっと絞らせてもらうか、それとも今見ていただいている中でこれはちょっとやっていたらなという事業とかがあれば。</p>
<p>熊崎会長（司会）</p>	<p>例えばこの場で1個でも2個でもいいんで、これだけはちょっとやってみてもいいんじゃないかなっていうような意見が出ることがあればそれは多分すぐにでも11月予算から組み込みやすい部分でもあると思うので。その他に例えばこんなのどうだっていう意見が出てくるようであれば、それもそれでここで町民協働事業でやってもらえませんかというのが事務局から出てくる可能性もあるということですよ。</p>
<p>辻主査（事務局）</p>	<p>はい、そうですね。</p>

熊崎会長（司会）	<p>いや、でもそれは、もし今日の今の時間で、例えば今出ている項目の中から今、志布さんからもお話が出ていた、ラジオ体操を受けるというのもあったわけですけど、そういったものも含めて何個かもし絞れるものというか、方針だけでも、この今日の数の中に出るのであれば、またちょっと前に進めば、そこから後は事務局の方で、例えばそれぞれのものについて実行委員を作れるのか、作れないのかということが出てくると思います。要は今回ちょっとこのいくつか出ている案の中から皆様からこういうのがいいんじゃないかなというのがもしあれば。この他にもしこんなものもある。くっつけられる案でもいいです。</p>
佐藤委員	<p>ちょっと訂正を。自分のちょっと考えたものと違う部分で10番目のアップサイクルのものづくりなんですけど。事業内容 100周年事業で作成する懸垂幕2枚を使用後にエコバッグなどにリサイクルし販売する、ふるさと納税の返礼品としても検討とあるんですけども。自分のイメージとしては100周年事業の懸垂幕のみではなく横断幕とかはわからないんですけども、各市でのぼりが事業にあわせて結構作られていることが多いんですね。そののぼりも含めてのぼりの数っていうのは結構な地域の広さによって枚数が数百枚とかとか言うこともあるかと思うんですが、そういう部分も含めてのアップサイクルっていう風に考えていたところです。私の最初の提案で抜けていたかなと。</p> <p>ふるさと納税というよりは100周年記念ということで、できれば町民の皆様に還元できるようなちょっとイメージでいたんですね。ただ還元するっていうよりは、謎解きのそれを達成した方へのちょっと景品というか、そういうような形でお渡ししたりとか、町民の方に何か記念に残るような形に持っていければっていうところが入って入っていました。</p>
辻主査（事務局）	<p>のぼりは町内限定とかそういうようなイメージですか。</p>
佐藤委員	<p>はい。そうですね。</p>
熊崎委員（司会）	<p>エコバックとかそういうのですよね。</p>
佐藤委員	<p>そうですね。やっぱりその生地が非常にいい生地を使っているようですので、はい。そういう取り組みをしている地域もあるようです。失礼しました。ありがとうございます。</p>
熊崎会長（司会）	<p>皆様の方から、これもやってみてもいいんじゃないかなというようなご意見があれば今、ちょっとお伺いしたいんですけど。</p>
西岡委員	<p>なんかいろいろ申し上げたんですけど。今皆さん言われた、4番の花火大会、5番の謎解きイベント、7番のリリー山に花を植えるや10番の今言ったなんかは非常にいいんじゃないかなと私は思っております。</p>
佐々木委員	<p>皆様スゴイ個人的なことと言っていいですか。演劇いいなと思ったんですよね。せつかくのやっぱこういう大きいイベントなんで、僕個人としては僕ら年代の若者、20代とか30代とか若者が活躍できるちょっと活躍してるというところを見てほしいなとは思いました。実はやっぱり謎解きイベントだったりとか、花文字プロジェクトとか、もちろんいいものなんですけど、一番この11項目の中で見させてもらったら演劇とかYouTubeヒストリーとかが、僕ら年代といえますか、青年層が活躍できるところなのかなと思ひまして。ぜひやりたいなと思っております。</p>

熊崎会長（司会）	<p>ちょっと携わりたいなど。</p> <p>ありがとうございます。</p>
田村委員	<p>そうですね。今の形というか自治推進委員会でやっていくという前提で言うと、途中会長がおっしゃられたようになかなか難しい部分があるんじゃないとか時間的なところもあると思うので、自治推進委員会が中心で、それでやっていくよっていう形で行くんだったら、なかなか複雑なことをしづらいかないと思いますので。そういった意味では、何か作ったりとかっていうのも予算だったり企画力っていうか運営力っていうか、そういった部分が非常に求められるところなのかなと思うので、上手く形にしていくとフォーマットにのるような形でそれを大きくするような企画がいいのかなと、やりやすいという形では間違いないのかなという風には思います。</p> <p>この中でいうと花火大会とか100周年ということで通常の規模の何倍も大きなものにして大々的にやるとか、そういったものであればやりやすいっていうか、間違いもないですし。いいのかなって間違いのないじゃないかって思います。</p>
熊崎会長（司会）	<p>ありがとうございます。</p> <p>既存のフォーマットがあるのは強いですね。</p>
鹿野委員	<p>田村さんの意見とはダブりますけど。花火大会とかは派手にやりやすいかなと思うんですけど。例えば花火大会に100年だから100を何かこだわるとしたら予算的とか規模的に合うかわかんないですけど、100台のドローンを夜一緒にあげて花火と一緒にドローンショーしてもらおうとか、100台でちょっとどれぐらいの規模なるのか、もっといっぱいないと映えないのかもしれないですけど、そういうのを合わせるとか。さっき言ったプロジェクションマッピングっていうのを花火大会と花火と花火の間で美幌の歴史みたいのが北中でやる美小でやるとかっていうのは壁に映してそういうのをしながらコラボしてやるとかっていうふうになるとちょっと100年っぽいかなっていうのは個人的に思います。</p>
熊崎会長（司会）	<p>いいですね。</p>
横山委員	<p>ちなみに100年に絡めてやる花火なら予算100万円とかって組んでますけれど、ずいぶん少ないかと、200万とか300万とかだしてくれないと。参考までに言うと、例年やってる美幌の盆踊りの花火大会は商工会議所やってますが、町からとか100万とか出してもらってますけど。やっぱり100万でやる花火だと、、一応参考までに。</p>
熊崎会長（司会）	<p>加藤さん何かございます。</p>
加藤委員	<p>意見っていうか、かなり正直驚いて。すいません前回ちょっと体調悪くて欠席させていただいたんですけど。こんなに大々的に関わっていくと思ってなかったの。実行委員の中で何かお話しをして代表の方が出るっていう形だと思ったので、驚いているというのが正直な感想です。</p>

熊崎会長（司会）	<p>僕もそれは思っています。</p> <p>なので、やっぱり実行委員は別にあって、それを進捗を確認したりする、もしくはどう進んでいるのかというようなことをチェックするような機関としての自治基本委員としてあった方が、進み方としてはいいのかなと思ったんですよね。実行委員は実行委員でどんどん進めてくれると思いますので。</p> <p>横関さんはどうでしょうか。</p>
横関委員	<p>既存の事業に載っかっていくのがいいのかと。やるのであれば花火大会のように規模を大きくしてやるのがいいのかなと。この流れで何か新しいものをやるというのは、難しいのかなと思ってはいるんですけど。</p> <p>たださっきののエコバッグもそれも自分たちで作るイメージだと、消費者協会が作ってるからそういう形でそういうところをお願いしてとか。役場の庁舎に100枚とか使用済みののぼりがあるのであれば、使った方が良いいのかなと思ったところです。</p> <p>それか業者さんをお願いするか、そういった形ですぐできるのだと入りやすいのかなと。</p>
辻主査（事務局）	<p>ちなみに横関さんすみません。消費者協会でそのエコバック作ってるというのはどこかにお願いして作ってもらっているのですか。</p> <p>それとも自分たちで作っているのでしょうか。</p>
横関委員	<p>着物とか自分たちで着なくなった服とかでエコバック、実際古布リサイクルですよねだから懸垂幕、まずこの生地がどのぐらい厚いかわからないんですけど例えばそれを会員さんたちでみんな行事でエコバック作ろうっていうような人なのかなっていうイメージを持ってたんですよ。</p> <p>そうなる協会としてお手伝いしたいのはできるかもね。って話はしてたんですけど。例えばこういうふうに1枚の大きな布を切って、L字に縫ってひっくり返したリバーシブルになっててその上から取って付けるだけの作業にはなるんですけども。そういうイメージ。協会としてお手伝いできるかなって。</p>
辻主査（事務局）	<p>材料だけ渡してやってもらえるみたいなイメージですか。</p>
横関委員	<p>実際見ないとわからないですけど。布をもらって、検討という。素材をもらって見ないとわからないですけど。</p> <p>ミシンをかけれるような、懸垂幕って厚いですよね。</p>
佐藤委員	<p>幕って風水にも耐えられるような生地です。</p>
横関委員	<p>船の旗紙みたいなそういうバッグになるのでそうなる業者さんしか縫えないんじゃないかなと。</p>
熊崎会長（司会）	<p>特殊なミシンが必要ですよ。</p>
辻主査（事務局）	<p>それ以外の交通安全とかそういうようなのぼり旗だと可能という。</p>

<p>横関委員</p>	<p>ちなみにちょっと宣伝になるんですけど直近で11月の22, 23日で消費生活展するんですけど、その時にA4ファイルくらいのちょっとしたエコバックを訪問してきてくれた人にミシンを置いて縫って出来上がらして、それでも多分1時間前後くらいはかかると思うんですけども、そんな感じのエコバックだったら作れて、会員さんに協力してそういうものでエコバックを作って100周年にみんなにあげるのに協力いただけませんかという形だともしかしたらとは思うんですけど。 ただ、懸垂幕は多分、テントを縫うとかですよ。</p>
<p>熊崎会長（司会）</p>	<p>職人さんの仕事ですね。それは革職人とか。</p>
<p>横関委員</p>	<p>それだと今、船のこのバッグとか今流行ってるので喜ぶとは思う。なにかこう。なにができるかっていうと。無責任な感じですね。</p>
<p>熊崎会長（司会）</p>	<p>全然そんなことないです。組織として何をするかっていうことと、やっぱり個人として何が出来るか、自分が自分の組織の一部として何が出来るかっていう部分というのがやっぱり出てくると思うんですよ。 その中で組織として何が出来るかっていうのを今言ってくださってるっていうのはすごいありがたいな。このあと例えば実行委員ができたとかしたときにどう動けるかっていうところもすごく変わってくると思うんで。</p>
<p>横関委員</p>	<p>ちょっとこういう話し出てるんだよねって話をした時に、協会としてできる活動といえばエコバックかなって。懸垂幕っていいねっていうけど。でも縫えるだろうかって、でものぼり旗だと縫えます。</p>
<p>熊崎会長（司会）</p>	<p>これは心強い意見ですね。志布さんはなにかありますでしょうか。</p>
<p>志布委員</p>	<p>男女共同参画プラン協の皆さんに、何を協力してもらえるかと思っていたのですが、縫うとかっていうのはちょっとそれぞれ無理かもしれないですが、積極的に協力しなきゃいけないということは、あるかなとは思うんですけども、なにか文科系なのか運動系なの大きな町全体で楽しめるものとかか。 まんべんなく、やるんだったらそんな感じにするとか。今年はこれに力を入れてやるとかしないと分散されて、何だったのかなとかなるのは心配もあるかな。予算があるので予算をかけなくてもいいところはかけなくてもいいのかと思う。 100周年の印象深いもので町民の記憶に残るものになったらいいのかなとは思います。</p>
<p>熊崎会長（司会）</p>	<p>副会長、何かご意見ございますか。</p>
<p>横山委員</p>	<p>私もさっきの西岡さんと同じで、時間がない。庁内で意見が出ていて、私たちも意見を出しました。ただ私たちの意見に対してどうやって欲しいというのを聞いても各々決められません。やっぱり事務局の方で庁内の検討組織から出た意見と私らが出した意見のすり合わせをして、じゃあことれやりましょうと私たちの方にまたぶつけていただいたほうが早いと思います。</p>

	<p>この庁内の連携事業の内容が、ほとんど町民協働事業と同じようなものになっている。そういった中ですり合わせて、じゃあこれやろうっていうことをね。どうでしょうかって私らにいただいたほうがここでね、あなた頑張って何かしますか、どう思うとかどうですかって聞いてもこれなかなか決まってきました。</p> <p>西岡さんおっしゃる通り。それこそ二人で作っていただいて、私たちももう一度やるならなるってやっていかないと、今回、今までやってますこの課題を話し合ってますね。なんで決まるって思います。</p>
<p>辻主査（事務局）</p>	<p>みなさんからのご意見参考にしてこちらで絞るといって形で次、決まり次第ご報告させていただこうかなと思います。</p>
<p>熊崎会長（司会）</p>	<p>そうですね。その中でできれば自治基本推進委員会のその役割というものはっきりさせていただければいいかなと思います。</p>
<p>鹿野委員</p>	<p>一つ聞いてもいいですか。</p>
<p>辻主査（事務局）</p>	<p>6番の例えば有名人を呼ぶっていうのも実現の実施の可能性は50%くらいなんですけども。予算的にはいくらぐらいを。</p> <p>予算的なものも誰を呼ぶかにもよるかもしれないんですけども、一応誰か呼びたいなっていう、どういう形で呼ぶかっていうのもまだ決まっていなくていいんですけども。一応そのような話では進めていますので、ちょっとこれは検討が必要になってくるんですけども。一応誰か呼びたいなとどういう形は話しているところです。</p> <p>ただ呼ぶのもその例えば、コンサートとかにするのかとか、講演会で有名な方を呼ぶのかとか、どのように進めていくかも含めてまだ検討段階というところです。</p>
<p>熊崎会長（司会）</p>	<p>他にないようであれば、議題の3にその他ですね。何かございませんか。はい。</p>
<p>沖崎課長（事務局）</p>	<p>すいません。ちょっと1点ですねご意見をお伺いしたいことがあるんですけども。今回皆様が自治推進委員になっていただいて、任期の関係がございましてご承知とは思いますが11月4日までが元委員の任期ということになっております。それで次、11月5日以降についての団体推薦ですとか、公募についてもちょっと事務的には進めさせていただいていたところなんですけれども、その中で各団体からの推薦につきましては皆様が同じ方をですね、推薦いただいたところでございます。</p> <p>ただ公募の委員さんがですね、広報ですとかホームページとかそういったものも通じて広く周知はさせていただいていたところなんですけれども、10月1日から10月21日までの期間設定しております。その中で今のところ1人もですね。純粋に公募ということでの応募がないという状況になっております。</p> <p>そこでですね、できましたら今、現在公募ということを出ていただいている委員さんについてですね、ちょっと再度公募のほうの枠をお願いしたいなということが事務局の方で思っているところなんですけれども。</p> <p>その中で1点ですね、ちょっと自治基本条例の方で自治推進委員会の</p>

	<p>委員さんについては2期までが留任っていうことになってるんですよ。それで3期目の留任については、例外といいますかそういった規定になっているところです。</p> <p>ただ、今回につきましてはこの100周年の事業について進んでいる最中ということと、あと社会情勢としてコロナの関係で、令和2年度から今回の2年間につきましては、なかなか思うような活動をするというのが取れなかった部分もございまして。</p> <p>そういったことをくみ取って斟酌して特例としてですね、3期目の留任について認めていただけたらという部分が事務局の方で思っているところとして、皆様のご意見等もちょっとお伺いできればと思っているところなんです。</p>
西岡委員	同意です。
横山委員	よろしくをお願いします。
熊崎会長（司会）	ばっちり頑張らせていただきます。コロナで失われた時間分もありますので頑張ります。
沖崎課長（事務局）	ありがとうございます。
田村委員	団体推薦は何期までとかって、同じ方はあまり推薦しないほうがいいですか。
沖崎課長	基本的には2期目までということで、留任2回までということですね。なのでトータル6年で、2年、2年、2年の2回の更新できます。
熊崎会長（司会）	他にも何かありますか。
辻主査（事務局）	議題1でもお知らせしています通り11月1日午後6時半からの答申をこの場所で、町長に対して行いたいと思いますのでご出席をお願いいたします。
熊崎会長（司会）	<p>委員の皆さんからその他何かありますか。</p> <p>なければ、これで終了したいと思います。</p> <p>今回は11月1日火曜日の18時30分6時半ですね、町長への答申と100周年記念事業について引き続き進めていくような形になりますので、どうぞよろしくお願いします。</p> <p>皆様お疲れ様でした。</p> <p>【閉会】</p>